

平成29年度 北九州市自立支援協議会 地域ネットワーク部会について
(在宅障害者と家族への包括的支援を考える検討会)

本市では、障害のある人が住み慣れた地域で自分らしく、安心して生活できるよう、障害に関するワンストップの相談機関である「障害者基幹相談支援センター」の設置をはじめ、当事者と家族を支える地域ネットワークの構築に努めてきた。

しかしながら、在宅で生活する障害者の中には、身近に相談相手がいない、主に家族だけで介護を続けているなど、フォーマル・インフォーマルな支援とのつながりを持たず、社会的孤立状態にある世帯も存在する。

こうした現状を踏まえ、障害者の自立と家族の成長を支える包括的な地域ケアのあり方について検討を進めるため、北九州市自立支援協議会・地域ネットワーク部会の新たな取り組みとして、当事者・家族、多職種の支援者からなる検討会を開催する。

記

1 開催時期

平成29年6月～平成30年3月（全8回程度）

2 会議の公開について

公開（※ ただし個人情報に関する事項は非公開とする）

部会の開催について、北九州市ホームページ上で広報を行う。

3 構成員

別紙のとおり（全8名）

4 主な検討課題（案）

（1）障害者支援に関する「情報の届け方」について（情報提供、情報共有）

（2）地域で孤立する障害者世帯に「気付く」仕組みづくり（早期の気付き、早期支援）

（3）在宅で生活する障害者世帯が孤立しないための仕組みづくり 等

〔検討の視点〕

当事者・家族、障害福祉事業者、地域関係者、行政など、地域社会を構成する多様な主体に求められる役割や、今後取り組むべき課題等について幅広い視点から議論を進め、関係者の協働による取り組みを通じた地域ネットワークの構築を図る。

〔部会の進め方〕

- ・ 自立支援協議会の趣旨に鑑み、構成員相互の意見交換を主体に議論を進める。
- ・ 正副座長を除く各構成員に意見発表（プレゼンテーション）の機会を設け、日頃の活動の成果発表や、家族ケアに係る提言を行う。
- ・ 構成員とあわせて、在宅の当事者家族による意見発表の機会を設ける。

（※ 基幹相談支援センターの相談事例より人選、個々の当事者にあわせて、別室での発表、録画による発表などの必要な配慮を行う。）

5 検討の成果について

検討の成果を「報告書」にまとめて関係者で共有し、（次期）北九州市障害者支援計画（平成29年度中に策定）などの行政計画や施策をはじめ、民間事業者による支援、当事者活動等に広く活かしていく。

6 今後の予定

【29年6月】第1回検討会 開催（22日・木）（以後、月1～2回程度開催）

【29年9月】中間まとめ

【30年3月】報告書完成

平成29年度 北九州市自立支援協議会 地域ネットワーク部会 今後の予定（案）
（在宅障害者と家族への包括的支援を考える検討会）

時期	内容
29年6月22日（木） （第1回）	○ 事務局説明（会議の主旨、今後の進め方等） ○ 意見交換（自由討議）
29年7月6日（木） （第2回）	○ 当事者意見発表 ○ 構成員意見発表 ○ 意見交換 〔検討課題1〕 障害者支援に関する「情報の届け方」について （情報提供、情報共有）
29年7月20日（木） （第3回）	○ 当事者意見発表 ○ 構成員意見発表 ○ 意見交換 〔検討課題2〕 地域で孤立する障害者世帯に「気付く」仕組みづくり （早期の気付き、支援）
29年8月3日（木） （第4回）	○ 当事者意見発表 ○ 構成員意見発表 ○ 意見交換 〔検討課題3〕 在宅で生活する障害者世帯が孤立しないための仕組みづくり
29年8月8日（火） （第5回）	○ 意見交換 ・ これまでの意見のまとめ ・ 更に検討すべき課題について ・ 中間まとめの構成について
29年8月25日（金）	（※ 予備日 議論の進捗に応じて開催を検討）
29年9月下旬 （第6回）	○ 中間まとめについて
（※ 29年秋以降）	（※次期 北九州市障害者支援計画 策定作業）
30年1月 （第7回）	○ 報告書最終案について
30年3月 （第8回）	○ 報告書完成